

2017年5月21日 主日礼拝

司 会 ①吉原兄 ②上田兄 ③土屋英兄

奏 楽

祈 禱 ①清水兄 ②衛藤兄

賛 美 讚美歌291番「主にまかせよ、汝が身を」
(主の山に備えあり)(主がここにおられます)

主の祈り

聖 書 ①②コリント人への第一の手紙13章1～7、13節 (P271)
③ ヨハネによる福音書9章1～8節 (P153)

音 楽 ① 北島美佐子姉(伴奏:白鳥直美姉)
②③池田宏里兄・原田恵姉

証 詞 ①②森屋祐子姉(ルツ会)

メッセージ ①②「いつまでも残るもの・シリーズ3」 倉知契副牧師
③ 「人生とは受けることと与えること」 大川従道牧師
(Gloria dei, vivens homo)

賛 美 「驚くばかりの」(聖歌229番・献金)

頌 栄 「それ神はその一人子を」(聖歌700番) アーメン

祝 禱

「神が喜びとするものは何か？それは、神が創造した
世界の中で共に生き活きと生きている人間たちである」

(エイレナイオス)

【大和ニュース】

☆来週は待望の「東京カルバリーチャペル」のオープン礼拝です。場所は、西新宿の
ハイアットリージェンシーホテル。説教は大川牧師。ゲストはサルーキー。
(JR新宿駅西口小田急ハルク前から無料バス。地下駐車場は無料券要。)

・ 本日、入門講座Ⅲ、送迎駐車場奉仕会、J.Plus、VIP 横浜日吉等あり。

・ 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜の説教は小林伝道師 ②木曜朝は石橋補教師
③金曜夜は佐々木伝道師。 (*木曜午後はサラの会)

・ 月1回の「断食祈禱会」は、主の十字架の時間帯。金曜9時～15時。

・ 大和市のクリーンキャンペーンは、27日(土)11:00から。ご協力お願いします。

☆故青木庄二郎兄の御遺族、御友人様を歓迎し、主の慰めと祝福を祈ります。

石の枕

～倉知契

祈りの人、そして愛の人でした。

母・倉知文字子が5月8日、心から愛してやまなかった主イエス様の御許、天国に召されてゆきました。先週、慰めに満ちた葬儀をしてくださった大川先生・道子先生と教会スタッフの皆様、ご協力いただいた教会の方、ご参列くださった皆様に、家族一同から、心よりお礼を申し上げます。

こんな思い出があります。13年前最初に癌が見つかって入院し、明日が手術という日に私がお見舞いにいったときのこと。病室のベッドに寝ている母に、どんな言葉で励まそうかと思案していると、母のほうから、「ねえ。イエス様が共にいてくださるから、私は心配しないことに決めたのよ」と言いました。「心配しないことに決めた、思い煩わないことに決めた」と…。そう言うからには、本当は心配も思い煩いも沢山あったと思いますが、そうしないことに決めた、という告白に、母の信仰、キリストにお委ねする生き様を感じたのを忘れることができません。

それは母の愛していた聖書のことばが教えていたそのものです。マタイによる福音書の6章から。『空の鳥を見るがよい。まくことも刈ることもせず、倉に取り入れることもしない。それなのに、あなたがたの天の父は彼らを養ってくださる。あなたがたのうち誰が思い煩ったからとて、自分の寿命をわずかでも延ばすことができようか。』『また、野の花がどうして育っているか考えてみなさい。働きもせず紡ぎもしない。しかし栄華を極めたソロモンでさえ、この花のひとつほどにも着飾っていなかった。』

母の生涯は、空の鳥のように、野の花のように、素朴で目立たないものでしたが、心配事と思い煩いを、主にお委ねしながら、日々祈ること、愛することをしていました。いまはすべての心配事から完全に解放され、神様のもとで憩っていますが、でもきっと天国でも、残された者たちのために祈ってくれているのだろうと思います。心から尊敬し愛する素晴らしい母をくださった神様に感謝し、親しくお交わりくださった方、母を愛しお祈りくださった皆様に感謝をお伝えします。主与え主取りたもう、主の御名はほむべきかな！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:ヨハネ8章～10章 Bコース:歴代志上3章～22章